

再発見！水の都 大阪

『JAFMate』 水都大阪紹介特集作り



#水都大阪 #地域広報 #魅力発信

目的

メディア専攻で学んだことを活かしながら、実際に取材や記事作成の経験を通して得た知識を使って学生目線で大阪の新しい魅力を発見し発信する



活動の概要

- 主な連携先
一般社団法人日本自動車連盟 (JAF) 大阪支部 / 水都大阪コンソーシアム
- 活動地域
大阪市内
- 活動期間
2020年度
- 活動資金
なし

連携にいたる経緯

関西大学とJAF大阪支部の産学連携活動として、『JAFMate』やweb媒体を用いて共同で誌面を作成し、地域の課題解決に寄与することになった。



活動内容

「水の都」と呼ばれていた大阪の水辺の魅力を発見し、歴史や文化への理解を深め、観光促進につなげることは、『JAFMate』で水都大阪を紹介する特集を組む狙いだった。2020年3月に、ゼミ生たちはまず水都大阪コンソーシアム関係者のレクチャーを受け、水運に支えられ、経済と文化の中心都市として発展してきた大阪の歴史について勉強した。次にJAF大阪支部、水都大阪コンソーシアムの関係者と一緒に編集会議を行い、特集記事のイメージ、内容と取材先を決めた。2020年4月に大阪市中央公会堂、こども本の森 中之島、一本松海運などの施設や会社を取材する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、現地取材を取りやめ、すべてリモート取材に切り替えた。2020年6月に緊急事態宣言が解除され、TUGBOAT_TAIISHO (タグボート大正) への現地取材と写真撮影が実現した。その後、記事を執筆し、JAF大阪支部の関係者とともに編集、レイアウト作業を行った。



活動の成果

- 取材・執筆した記事は『JAFMate』2020年8・9月(関西版)に掲載された
- 水の都・大阪の文化的、歴史的資源を再発見できた

今後の課題・目標・展開の可能性

- 引き続きJAF大阪支部と連携し、『JAFMate』やweb媒体にて学生目線での情報発信を行う
- 2021年度からスタートした、水都大阪コンソーシアムと連携した水の都大阪をPRする活動を続けていく

連携先からの一言

今回の活動は、新型コロナウイルスによる影響を大きく受け、記事内容の大幅変更、取材や打ち合わせ方法の変更など、試行錯誤をしながらのチャレンジとなりました。しかし学生たちはクオリティを低下させることなく“何事もなく”活動を続け、素敵な記事を完成してくれました。今後も産学連携を通じた地域振興活動と一緒に続けていきたいと思えます。
(一般社団法人日本自動車連盟 (JAF) 大阪支部会員事業課)

社会学部 教授 劉 雪雁 Liu Xueyan



専門分野は国際メディア論。近年、訪日外国人観光客と地域活性化の関係について調査研究を行っている。

